

# 保育あき友

Vol.69

2026.3.31

題字：故 小畑勇二郎 書（秋田県知事）

## ●巻頭言

「みんなで立ち向かきましょう！」  
秋田県保育協議会 会長 大友 潤一

## ●情報提供

秋田県教育庁幼保推進課 課長 加藤 千晶  
聖霊女子短期大学生活文化科  
生活こども専攻 教授 野内 友規  
秋田県立支援学校天王みどり学園  
教諭（兼）教育専門監 小野 直子



## みんなで立ち向かいましょう！



秋田県保育協議会  
会長 大友 潤一

令和7年度も秋田県保育協議会に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。今年もたくさんの課題にあの手この手で立ち向かいました。しかし、結果を求められる立場として、みなさんの要望には答えられなかった一年だったように思い、反省しています。新しい知事が誕生し、県保育研究大会で基調報告をした直後、県庁に向かい要望書を手交し、思いをぶつけましたが何も成果は見られない現状です。県社協、地域福祉推進委員会に於いても、障がい児保育補助金の増額を求めましたが、全く効果はありませんでした。委員会の存在意義があるのかを県社協に訴えたところです。と、この原稿を書いている時点ではそういう状況だったのですが、その後鈴木知事が約束を守ってくださり、令和8年度予算には県単で障がい児保育補助金が2億80万円計上されました。知事は私と面会後すぐに指示を出してくださったのですが、担当レベルで話が止まっていたとのこと。再度知事からの強い支持において、今回の予算計上となりました。鈴木知事には感謝の言葉しかありません。逆にこれにより、各市町村がこれまでの障がい児保育補助金を減額することのないように、みなさんに注視していただきたいと思います。そのようなことがあった場合にはすぐに地元の議員さんや保育協議会にお知らせください。

祝意をもって皆様にお知らせしたいこととして、今年は秋田の保育を牽引してくださった大先輩たちがたくさん叙勲されました。とても嬉しく思っています。今があるのは大先輩たちのお陰です。受け取ったバトンをしっかりと繋ぎたいと思います。叙勲、改めましておめでとうございます。

少子化は歯止めがかからず、施設の閉園・合併は増え続けています。先日、こども家庭庁の某課長と話をした時に、10年前100人こどもが居て、今、50人しか居なかったら、同じ数の施設が有るのはおかしい。行政が積極的に施設数を調整するべきだと話されました。目の前がさ〜っと開けた気持ちになりました。あ、この人たちは過疎地域の施設を守る気は全くないのだと分かりました。ある意味すっきりしました。開き直れました。我々は自力で何とかするしかないのだと。最後はトップの裁量で決まるのだと。私は秋田市の施設長なので秋田市の話を少ししますが、体調不良児対応型の病児保育は令和11年で廃止するそうです。トップが変わるとこうなるのか、保護者や子どもの事は考えないのか。必要としていることまで独断でバッサリ切られるのか。選挙って怖いですね。このまま黙っている気はありませんけど。自分が秋田県保育組織のトップと奢る気持ちは全くありません。でも意見を言える立場にいると思っています。一人が言うよりみんなで言う方が効果はあります。一人で足掻く、抗うより、みんなで抗いましょう。こどもたちのため、我々が出来ることをみんなで考えて、立ち向かいましょう。

## 「こどもまんなか社会の実現と持続可能な保育体制の構築に向けて」



秋田県教育庁幼保推進課  
課長 加藤 千晶

「保育あきた」第69号が発行されますことを心よりお祝い申し上げますとともに、発行に当たり御尽力されました関係者の皆様方に深く敬意を表します。

また、日頃から、子どもたちを大切に丁寧に育てていただいておりますとともに、県の就学前教育・保育施策に特段の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、国の動きとして、令和7年度補正予算では、公定価格上の人件費が5.3%引き上げられ、令和8年度も維持される予定であるほか、令和8年度から「こども誰でも通園制度」が全国展開され、また、障害児保育の充実のために、作業療法士等の専門職を保育士とみなして配置できるようになります。

一方、県では、組織再編により、教育庁にあった幼保推進課の業務が、令和8年度からは知事部局の人口戦略部こども支援課に移管することになります。これまで施設類型の区別なく幼保一体で進めてきた取組は全て継続していくほか、多様化する保育ニーズや、令和6年度に貴会の協力を得て実施しました調査の結果等も踏まえ、よりきめ細やかな県独自の支援を強化してまいります。

まず、乳幼児期の教育・保育の充実に向け、新たに施設のニーズや悩みに対応した訪問や、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援のために医師等を講師としたインクルーシブ保育に関する研修会を実施するとともに、「幼保小の架け橋プログラム」の取組等を通じて、幼保小接続期の育ちと学びを切れ目なく支えてまいります。

次に、県が目指す障害児保育の充実についてです。子どもたちの健やかな成長のためには、一人ひとりの発達過程や特性に応じた保育の実施が不可欠であり、現在、各施設において、職員配置を含め、多大なる努力によりきめ細やかな保育を行っていただいておりますことに深く感謝申し上げます。県では、令和8年度に、市町村等による障害児保育補助に対する上乘せとなる補助金を創設し、現場の負担軽減を図るとともに、前述したような施設の不安に寄り添った支援を行っていくこととしております。

さらに、喫緊の課題である保育人材の確保については、令和8年4月に新たに「秋田県保育士・保育所支援センター」を(福)秋田県社会福祉協議会への委託により設置し、求職者と施設とのマッチングや、保育の現場の魅力発信、職場体験など、潜在保育士の復職支援や定着支援等に取り組んでまいります。多くの施設に求人登録をしていただきますとともに、センターのスタッフが施設を訪問し、保育現場の状況や皆様の声などを見聞きし、情報発信を行っていく予定ですので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

施設運営を巡る環境は、少子化の進行や物価高騰など依然として厳しい状況にあります。県では、人口減少地域における保育機能の維持・確保に向け、国に対して制度改正や財政支援の要望を継続してまいります。皆様におかれましても、引き続き県の施策への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 「まなぎしの温度」が、明日をつくる——わが子の寝顔と、インクルーシブの原点



聖霊女子短期大学 生活文化科 生活こども専攻  
教授 野内 友規

私には三歳の息子がおります。夜、その無防備な寝顔を見つめていると、「この子が生きる世界が、どうか優しいものであってほしい」と、願わずにはいられません。小さな手が安心して差し出され、違いによって傷つくことのない社会であってほしい。そんな思いが静かに込み上げてまいります。

この感覚は、研究者としてというよりも一人の親としての切実な実感です。しかし同時に、保育者養成に携わる者として強く自覚する瞬間でもあります。私たち教育者・保育者は、人々が笑顔でいられる「未来」を今、この手で作っているのだ、と。

子どもたちは誰もが弱さを抱えそして同時に、誰もがかけがえのない存在です。障がいのある子どもでもない子どもできることや得意なことが違うだけで命の尊さに優劣はありません。昨今語られる「インクルーシブ保育」とは決して特別な理論ではなく、「あなたがここにいてよい」というメッセージを日々の関わりのなかで伝え続ける営みそのものだと私は考えています。

現場の先生方は決して理想論だけで動いているわけではありません。時間に追われ、書類に追われ、悩み葛藤しながらも目の前の子どもに誠実であろうと踏みとどまっておられます。その尊い姿こそがすでに社会を支える大きな力です。子どもは大人の「まなぎしの温度」を敏感に感じ取ります。忙しさのなかで向けられた一瞬の微笑みはその子の自己肯定感を育むかけがえのない種になるのです。

保育の根底には温かさや誠実さといった人間としての根源的な優しさが流れています。その積み重ねの先に争いではなく共生を選べる「平和な社会」があるのではないのでしょうか。これは抽象的な理想ではありません。日々の保育室で繰り返される具体的な営みの地続きの先にある未来です。

養成校では専門知識や支援技術を教えます。しかし、それ以上に大切に伝えたいのは「目の前の子どもを丸ごと受け止める力」です。障がい特性の理解も、合理的配慮の手法も欠かせません。しかしその前に、「この子はどんな世界を見ているのだろう」と想像する温かな好奇心がなければ、支援は形だけのものになってしまいます。

わが子の笑顔を守りたいと願う気持ちはきっと多くの保育者の胸にもあるはずです。目の前の子どもを思う心は決して他人事ではありません。その子の未来は社会の未来であり私たち自身の未来でもあるからです。

子どもが安心して眠り、明日を疑わずに目を覚ますことができる社会。その土台を私たちは日々の保育のなかで静かに着実に築いています。派手さはなくとも、これほど確かな仕事は他にありません。忙しさのなかで立ち止まれなくなる日もあるでしょう。それでも、ふとわが子や園の子どもたちの寝顔を思い出したとき私たちが携わる仕事の重みと誇りを、もう一度感じていただけたらと願っております。保育とは「ともに生きてよい」と伝え合う営みです。その営みが積み重なった先にきっとより優しい社会が開けていくと信じています。

## 「安心感のある関わりの中で成長するお子さんたちの姿を通して」



秋田県立支援学校天王みどり学園  
教諭（兼）教育専門監 小野 直子

特別支援学校のセンター的機能の一つとして、地域の幼稚園や保育園、認定こども園に、年間複数回伺って、支援の必要なお子さんへの関わりについて、先生方と相談をしています。2回目以降の訪問では、毎回子どもたちの成長に驚かされています。例えば…

- ・園庭をぐるぐる周回して遊んでいたお子さんが、エレベーターに見立てたコーナーを先生と一緒に作って遊び、さらに周りの人も誘ってやりとりを楽しむようになっていました。
- ・絵本の読み聞かせが始まると、走り回って部屋を出て行っていたお子さんがお気に入りの絵本を先生とじっくり見たり指さしたものを繰り返し言葉にしてもらったりしたことなどから、みんなとの読み聞かせの場でも先生の膝の上に座り、所々「あっ！」と言って絵本を指さし関心をもって参加するようになっていました。

どの姿も先生たちとの関わりなどを通してじわじわと変化、成長してきている様子です。

各園に行くとき行事予定が写真やイラストを交えて掲示されていたり、玩具がどこにあるか（どこに片付けるか）が分かりやすいように棚に玩具の写真が貼られていたり、作っている途中の工作等を置く「つづきコーナー」が設けられていたり、子どもたちが分かって気持ちの準備をしながら安心して過ごせるよう環境が様々工夫されています。ただ、前述の子どもたちの変容の背景にはこのような工夫だけでなく、先生方の日々の気付きや子どもたちへの理解、関わりがとても大きくあると感じています。支援の必要な子どもの中には関心のあることを他者と共有することに難しさを抱えている子どももいます。どのようなことに関心があるのか、その子の世界に寄り添って気持ちを共有してみることでその子の感じ方や捉え方を少しずつ感じ取ったり、子どもが安心感をもって関わるができる関係を築いたりすることができると思います。安心感のある関わりができると周りに目や気持ちを向けてみたり、周りからの関わりや働きかけに応じてみたりするなど、自分の世界を少しずつ広げていく子どもの姿につながっていくと感じています。

自閉症の特性のある作家の東田直樹さんが幼稚園に通っていた頃を振り返りエッセイを出されています。その中に「僕は話すことができなかった。口をパクパク動かしても、大きく息を吐いても、口から言葉は出てきてくれない。僕の代わりにお喋りしてくれる先生。話せない僕の気持ちに寄り添ってくれる先生の言葉には何度も救われた。」「毎日やっているにも関わらず、みんなのようにできない。毎回初めて経験するような感覚。手取り足取り教えてもらった。先生は、少しでもできれば、ほめてくれた。だから、毎日幼稚園に通っていた。」とありました（「だから毎日、幼稚園に通えた」より一部抜粋）。

ありのままの自分を受け入れながら関わってくれる先生の存在によって、東田さんが安心して園生活を過ごしていた様子がうかがえます。人それぞれ感じ方や捉え方は異なります。その子の感じ方や捉え方を知ろうとするまなざしと関わり、チームみんなで大切にしていくことを園への訪問を通して私自身も学ばせていただいています。今後もよろしく願いいたします。

## 常任委員会・各部会報告並びに各地区からの報告

### 令和7年度第3回常任委員会報告

令和8年2月17日（火）13：30～16：30 場所：WEB開催

【参加者】会長・副会長、各部長、中央関連委員、事務局

#### 【協議事項】

(1) 令和8年度総会開催日・方法について

- ・令和8年4月24日（金）14：00～WEB開催
- ・議長 過去記録より県南地区（横手）より選出
- ・議事 令和7年度事業報告  
令和7年度決算報告 監査報告  
制度の一部改正について  
令和8年度事業計画（案）  
令和8年度収支予算（案）

(2) 令和7年度事業の活動報告、残余期間事業について

総務部（共創プロジェクト）、広報部、研修部、研究大会部、運営研究部（公定価格検討委員会）青年部、日本保育協会（女性部・青年部）、全国私立保育連盟（予対・青年会議）

(3) 令和7年度予算執行状況 決算見込みについて

(4) 制度の一部改正（災害互助制度）について

(5) 令和8年度 各部計画案および予算案について

(6) その他

- ・執行部内の円滑な情報共有についての意見等

---

## 総務部

#### 【実施した部会】

○第3回 日時：令和8年2月6日（金）13：00～15：00

場所：WEB開催

内容：令和7年度残任期間活動について

- ・常任委員会上程資料（令和7年度収支状況確認および各種制度運用状況の確認および改正案）  
について
- ・総会開催方法について

- ・ 常任委員会 上程資料 予算案検討について
- ・ 総務部付け活動について

#### 共創プロジェクト

##### 【今後実施する事業】

- 県保育協議会・日本郵便・秋田県警 こどもの見守り三者連携協議会
- ・ 都度の情報交換等協議

#### 聖園学園短期大学様×聖霊女子短期大学様 連携事業

- ・ 園長シンポジウム・保育研究発表の展開 総括
  - ・ 令和7年度 園内研修 総括のための評価
- 研修施設（秋田市 わかこま第一保育園・横手市 明照保育園）への実施後アンケートの実施

#### 連携養成校への実施後アンケートの実施

- ・ 令和8年度 園内研修に向けた活動実施 公募（3月中）、選考・オリエンテーション（4月中）
- ・ 上記事業実施のための養成校との都度協議

##### 【部からのメッセージ】

総務部員の多くが新旧交代となった初年度。規程や収支科目の意味などを部内で闊達に意見交換し学び合った1年でした。掲げている部スローガンは「組織活動を支えよう」です。大事にしなければいけないこと、時代の変化に合わせるべきことの両方を意識しつつ、組織全体と各部の活動が円滑に、より効果的に展開されるよう支えられる総務部を目指してまいります。

日頃の会員の皆様のご理解に心より感謝いたします。あわせて、令和8年度の活動につきましてもご協力をよろしくお願いいたします。

（総務部長 津村 侑弥）

---

## 研修部

##### 【実施した部会】

- 第8回 日時：令和7年12月26日（金）14：00～16：00
- 場所：WEB開催
- 内容：令和8年度の研修についてのアンケートについて
- その他

- 第9回 日時：令和8年2月10日（火）14：00～16：00  
場所：WEB開催  
内容：令和8年度の研修アンケート結果について  
令和8年度の研修内容について  
その他

【部からのメッセージ】

この度、研修部では会員の皆様に研修についてのアンケート調査を実施いたしました。年度末のお忙しい中ありがとうございました。

多くの意見が寄せられ学びの意欲があふれていることを実感いたしました。また1年間、研修部の活動にご協力いただきまして大変感謝しております。令和8年度もより良い学びを提供できるよう努めて参ります。

(研修部長 能元 こずえ)

---

## 研究大会部

【実施した部会】

- 第5回 日時：1月13日（火）13：00～16：00  
場所：WEB開催  
内容：第54回秋田県保育研究大会について  
担当副会長、部長、副部長による部会前打合せ
- ・分科会分けについて（案）作成
  - ・発表録画日程
  - ・実行委員会の進捗状況
  - ・その他
- 第6回 日時：1月20（火）10：00～16：00  
場所：WEB開催  
内容：第54回秋田県保育研究大会について
- ・分科会分けについて
  - ・発表録画日程
  - ・実行委員進捗状況
  - ・助言者選定について
  - ・その他

○秋田県保育研究大会実行委員との打ち合わせ

日時：3月5日（木）13：30～17：00

場所：WEB 開催

内容：第54回秋田県保育研究大会について

- ・進捗状況の確認
- ・その他

【部からのメッセージ】

第54回秋田県保育研究大会の現在の進行状況をお知らせいたします。

提案者の皆様、多忙の中、資料を丁寧にまとめて下さり心より感謝申し上げます。

現在資料第1校（初校）を印刷会社に依頼しました。最終の確認ができ次第まとめていきたいと思っております。

実行委員の皆様、大会準備に際しましてお手数をおかけしております。大会までの間、情報を共有しながら参加する皆様にとって意義のある大会にしていきたいと考えております。今後とも、研究大会部の活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（研究大会部長 齋藤 奈緒美）

---

## 運営研究部

【実施した部会】

○第8回 日時：12月18日（木）13：00～16：00

場所：WEB 開催

内容：調査について

【部からのメッセージ】

日頃より運営研究部の活動に対しご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

2年に渡り他の団体との共催での園長セミナーでした。参加していただきありがとうございます。次年度は単独での園長セミナーの開催と調査、情報提供に努めていきたいと考えております。今後共、運営研究部の活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（運営研究部長 吉川 誠治）

## 広報部

### 【実施した部会】

○第5回 日時：1月19日（月）13：30～15：00

場所：WEB開催

内容：『保育あきた』について

- ・内容について  
（巻頭文・情報提供・部会報告・常任報告・各地区報告・表彰関係等）
- ・執筆者の選考について
- ・担当割り振り（依頼等）
- ・校正作業の日程について（今年度最後の部会）
- ・その他

○第6回 日時：3月6日（木）13：30～16：00

場所：保育協議会 会議室

内容：『保育あきた』 原稿校正作業

- （プロジェクター、スクリーンを使用し誤字脱字等の修正）
- ・次年度の事業計画について
- ・その他

### 【部からのメッセージ】

日頃より広報部の活動に対しご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。今年度の『保育あきた』を発行いたします。是非とも職員の皆様にもご覧になっていただければ幸いです。

今後も会員園の皆様にとって有意義な情報発信となるよう部員一同頑張っております。

広報部の活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（広報部長 川嶋 博英）

---

## 青年部

### 【実施した部会】

第6回 日時：2月24日（火）13：30～16：00

場所：WEB開催

内容：今年度の振り返り、次年度の活動について等

### 【部からのメッセージ】

12月に開催しました青年部主催研修会において、Google フォームの活用について取り扱いました。研修会後に実施したアンケートにて「思っていたよりも取り組みやすかった」「早速業務の中に取り入れた」といったご意見を頂戴し、研修会が会員の皆さまのお役に立っていることを実感しています。部員が講師となるという初めての試みでしたが、我々にとって学びを再構築することができた良い機会であったとも感じています。

保育におけるICT・DXが今後さらに加速していくことを想定し、青年部として知識・経験をさらに積み上げて、会員の皆さまに還元できることを増やしていけるような活動を進めていきたいと思えます。引き続きご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(青年部長 伊藤 昌人)

## 鹿角地区保育協議会

会長 吉田 正恵 (あおぞらこども園 園長)

当地区は認可保育園6施設、認定こども園2施設、児童・未来センター合わせて9施設で構成されています。令和7年度の事業について報告します。

### 1. 会議の開催

理事会	年3回 (6月、9月、12月)
理事・評議員会	年1回 (2月)
事務局会議	年3回 (5月、8月、1月)

### 2. 会報「しかしか」発行

会員共通テーマ

「私の推し活 ～〇〇なしではいられない～」

NO.86号 (9月) 冒頭の挨拶  
小坂町教育委員会 事務局長 山口 博美 氏

NO.87号 (2月) 冒頭の挨拶  
鹿角市健康福祉部 すこやか子育て課 課長 工藤 千秋 氏

### 3. 研修会

○保育協議会・保育士部会 共催研修会

開催方法 WEB開催 (10/3～1/15) (5) 保育の手立て

演題 「保育の手立てについて 理由と意味を学び直す

すべての子どもに通じる理解と対応」

講師 作業療法学博士 野藤 弘之 氏

※期間内に各施設で視聴し、グループワーク等で園内研修に活かす



### ○保育士部会研修会

開催方法 参集型

演題 「食べる力を育もう！0歳児からの口育と食事支援」

講師 栄養士 小田原 栄子 氏

## 北秋田地区保育協議会

会長 本多 美代（大館乳児保育園 園長）

当地区は大館市の公立9施設・へき地5施設・民間1施設、北秋田市の認定こども園2施設・公立3施設・民間5施設、そして上小阿仁村の認定こども園1施設を合わせて26施設で構成されています。

事業は会員全員で協力して活動を行いました。今後も連携を取り合い、役員や会員施設長の協力を得て活動を続けていきたいと思っております。令和7年度の事業について報告をいたします。

### 1. 会議の開催

総会 年1回 役員会 年4回

### 2. 事業報告

○視察研修会 6月25日(水) 参加者 21名

《訪問先》・共生センターとっと工房

・秋田県立比内支援学校

《内容》子ども一人一人に合わせた継続的な支援の在り方と各施設の情報交換



○子育てを語る集い 8月23日(土) 参加者 44名

《講演》「インターネットの健全利用について」

講師 秋田県教育庁北教育事務所 社会福祉主事 辻永 佳樹 氏



保護者も参加できるように土曜日開催とし、各園で保育を行う旨を園のおたより等で広く周知したが参加人数は増えず残念であった。

○施設長等研修会 10月19日(日) 参加者 125名

《講演》「共生体の保育、って何？」

～子ども・保育者・保護者もワクワクする保育へ～

講師 玉川大学教育学部 教授 大豆生田 啓友 氏



保護者や幼稚園教諭、行政関係者等幅広い関係者の方々の参加をいただいた。講師と講演内容への関心の高さが感じられた。

○研修会 2月17日(火) 参加者 30名

「指導監査」について

講師 北教育事務所 総務・幼保推進課チーム 副主幹 児玉 大人 氏

「保育の質の向上」について

講師 北教育事務所 総務・幼保推進課チーム 指導主事 岡部 賢哉 氏

○機関誌 「北の保育」No.44号 編集・発行

《内容》

- ・巻頭言 各事業の実施概要と感想
- ・大館北秋田地区保育協議会活動報告
- ・新園長インタビュー 他

# 能代山本地区保育協議会

会長 高橋 さおり（能代市第一保育所 所長）

当地区は能代市（8施設）と山本3町（6施設）の14施設で構成されております。  
令和7年度の事業について報告いたします。

## 1. 総会（4月）

- ・事業報告と事業計画について
- ・講演

『こどもにしてみませんか？「ほ・ま・れ・か・が・や・き・を」で、  
伝わりやすいコミュニケーション』

講師 秋田県北児童相談所 相談第二チーム主査（兼）児童福祉司 猪又 美奈子 氏  
機中八策…千葉県の子どもの相談所所長さんが考えた、子どもとのスムーズな対話術について「ほま  
れかがやきを」を頭文字に子ども達とのコミュニケーションに効果的な落ち着くコツや待つコツ  
などのお話を聞きました。

## 2. 役員会 年3回（6月、8月、2月）

## 3. 施設長研修会（10月）

「防災教育～身近で災害が起きたら…」

講師 わんパーク大館(大館少年自然の家)

主任社会指導主事(兼)チームリーダー 成田 裕一 氏

“フェーズフリー”という日常生活でも使うことのできる「備えない防災」方法について学びまし  
た。新聞紙でのスリッパやお皿作りなどを一緒に行ったり、万が一、避難場所でテントの設営が  
必要な時のために、簡単にできるテントの設営をしたりと、実践を中心にみなさんで研修を受け  
ました。また、ポリ袋を使った調理についても資料を基に紹介していただきました。



## 男鹿南秋潟上地区保育協議会

男鹿市保育協議会 会長 太田 真樹美 (船越こども園 統括副園長)

南秋・潟上保育協議会 会長 田仲 泉 (出戸こども園 園長)

当地区は男鹿市 (5 施設) と南秋・潟上地区 (10 施設) で構成されています。

協議会の運営はそれぞれで行っていますが、例年学習会や研修会への参加を呼びかけあい交流を図っています。男鹿市保育協議会では、学習会に一人でも多くの職員が参加できるように今年度は同じ内容で年 3 回実施し、子育ては産まれる前のお腹の中にいる時から始まっているという発達の土台について深く学び、保育実践に活かすことができました。

また、南秋・潟上保育協議会では、いつ起きるかわからない災害に備えて、どのような取り組みが必要なのか防災について学びました。

### 【男鹿市保育協議会】

1. 保育士部会学習会 第 1 回・第 2 回・第 3 回  
『お腹の中から始まる子育て～発達の土台を育てる～』  
講師 あい助産院 施設長 菊地 世智子 氏



2. 園長会議 13 回
3. 園長補佐等会議 4 回
4. 調理員委員会 2 回
5. 作業手委員会 1 回



### 【南秋・潟上保育協議会】

1. 主任及びリーダー保育士研修会  
「大人が楽しむ絵本時間」  
～大人と子どもの絵本の楽しみ方の違い～  
講師 絵本セラピスト協会認定 絵本セラピスト 木村 加奈子 氏

2. 第 1 回 保育実践研修会  
秋田県保育研究大会発表  
「保育者や友達と関わり、心豊かな遊ぶ子どもをめざして」  
～相手の言葉や思いに心を寄せるためには～  
発表者 潟上市立昭和こども園 保育教諭 佐藤 淳子 保育教諭 船木 萌  
講話「育ちと学びをつなぐ」  
～園内研究について 架け橋カリキュラムの視点から～  
講師 前潟上市教育・保育アドバイザー 合田 マキ子 氏



### 3. 第2回 保育実践研修会

「園児、保育者、地域と共に考える防災」

講師 日本赤十字東北看護大学 介護福祉短期大学部 講師 及川 真一 氏

はな咲く会グループ協議（情報交換）

「各園の防災について」 ～どのように取り組んでいるのか～

## 秋田市地区保育協議会

会長 上村 清正（あおぞらなないろ園 園長）

秋田県において中核市であります秋田市においても少子化は加速度的に進んでおり、専門性の高い幼児教育・保育を実施していても、地域性による入園児童数の違いなどが見られる状況があります。こうした状況下ではありますが、これまで同様に様々な取り組みにおける課題や対応について、役員で協議・検討・決定しつつ会員園皆さまのご意見もお聞きしながら秋田市の子育てに関する環境や施設関係者の就労状況の改善、施設運営に関する支援等について継続して取り組んで行かなければならないと考えております。

これからも、当協議会に関わる全ての皆さまの「笑顔」を増やしていけるよう尽力してまいりたいと思います。

令和7年度の当会の活動は次の通りです。

#### 1. 諸会議

##### （1）総会

4月15日（火）各議案を承認いただき、計画した事業を進めていくこととなりました。

##### （2）正副会長会・施設長会

月1回のペースで集合形式にて開催していきました。参加者間で活発な意見交換を行いつつ進めております。

新たな秋田市市長と直接お会いして、当協議会として要望及び秋田市の就学前施設における懸念事項等を書面にてお渡ししつつお伝えさせていただきました。

#### 2. 部会活動

主任部会、給食部会、保健部会、男性保育士部会の4部門が計画に沿って実施してまいりました。

男性保育士部会は昨年度に引き続き秋田県保育協議会からの依頼を受け「子育て応援団すこやかあきた2025」へ参加し「男性保育士」のイメージ向上にも貢献いただきました。

主任部会・給食部会、保健部会においてはその立場における専門性の向上に向けた取り組みを各自で話し合い実施していただきました。

### 3. 委員会活動

#### (1) 研修委員会

2回の研修会と新春のつどいを企画・開催しました。

9月25日(木)

「ハラスメント防止の知識と対策講座」 中里 弘樹 氏

1月16日(金)

「足育講座」 塚本 由香理 氏

#### (2) 広報委員会

ホームページに毎月リレーコラムを更新しております。また「協議会だより」を2回発行しました。

#### (3) 保育運営委員会

7月7日(月)

秋田市議会議員会派、自民党秋水会との懇談会

①秋田市保育協議会が秋田市へ提出した「要望書」の説明及び質疑応答

②その他「子育て支援」や体制に関する意見交換

#### (4) 子育て支援企画委員会

「子育て応援団すこやかあきた 2025」へ昨年に続き今年度も実行委員として参加しました。

当日はスタッフとして参加し男性保育士部会による寸劇と共に今年も会場を盛り上げました。

### 4. 地区ブロック別交流会行事

今年度は東部地区、中央地区③の2地区が交流会を実施しております。地域交流助成については、今後もその対応について都度協議し進めてまいります。

### 5. 保育懇談会

施設長部会の声を取りまとめ、秋田市保育行政に対する意見・要望等を提出し、その解答をふまえながら秋田市子ども育成課長、課長補佐と正副会長にて意見交換等を実施いたしました。

### 6. 秋田市議会議員会派「秋水会」・「自民党」との意見交換会

3-(3)に記載

### 7. 今後の課題等

秋田市において「行政・政治・保育現場の三者が協同しより良い子育て支援・体制を構築していく」事ができますよう、皆で取り組んでまいりたいと考えております。

## 由利地区保育協議会

由利本荘市保育協議会 会長 齋藤 晴美（亀田保育園 園長）  
にかほ市保育協議会 会長 今野 眞保（明星こども園 園長）

当地区は、由利本荘市・にかほ市が連携を取り合って活動を進めております。協議会の運営はそれぞれで行っていますが、研修事業については、両協議会と地区保育士会の三団体が合同で実施し、会員の資質向上と地域に根差した保育を目指し、連携を図りながら活動をしています。

由利本荘市では、こども家庭センターとの勉強会、市議会議員との懇談会、市への要望書の提出も行っております。令和7年度実施の事業を報告します。

### 1. 会議開催

総会（4月） 合同役員会2回（5月、2月）

### 研修事業

#### ①主任保育士会議・研修会（6月）

「子どもの育ちと保護者とのかかわり」～児童家庭支援の現場から～

講師 児童家庭支援センターこねくと センター長 富樫 美和子 氏

#### ②園長・主任等合同研修会（7月）

「秋田県における少子化対策と子育て支援の取組」

講師 秋田県あきた未来創造部 次世代・女性活躍支援課  
子育て支援チーム 主任 保坂 祐樹 氏

#### ③給食研修会（9月）

「保育園の栄養管理について」

講師 由利本荘保健所 副主幹 管理栄養士 鈴木 静香 氏

#### ④保育研修会（9月）

「遊び歌・手遊び・ふれあい遊び・体操・ダンス・パネルシアター等、

保育の現場ですぐに子どもたちと実践できる遊びネタ」

講師 ソングブックカフェ 遊び歌作家 鈴木 翼 氏



⑤保育研修会（10月）

「共主体の保育って何？～子ども・保育者・保護者もワクワクする保育へ～」

講師 玉川大学教育学部 教授 大豆生田 啓友 氏

⑥保育士研修会（11月）

「子どもと読み聞かせについて～もっと絵本となかよくなろう～」

講師 グループかぜ 代表 谷 京子 氏

⑦園長等研修会（11月）

「保育行政の動向について」

講師 日本保育協会理事 保育総合研究会会長

社会福祉法人清隆厚生会理事長

こども園ひがしどおり園長 坂崎 隆浩 氏

⑧保育士等研修会（12月）

「多様な子どもと保護者の理解」

講師 秋田県発達支援センター「ふきのとう」

センター長 荒川 祐介 氏

⑨保育士研修会・会議（1月）

「社会の動向と主任保育士の役割について」（なんでも相談室）

講師 にかほ市保育協議会 会長 今野 眞保 氏

2. 調査・広報活動

「由利本荘市・にかほ市 保育従事施設者名簿」作成

3. その他

子ども交流事業「第37回こどもフェスティバル（本荘地区）」開催（9月）

---

## 仙北地区保育協議会

大・仙・美保育協議会 会長 鈴木 紀世子（おおたわんぱくランド 園長）

大曲地区保育協議会 会長 高橋 朝子（大曲駅前こども園 園長）

仙北地区は大仙・仙北・美郷地区と大曲地区保育協議会の2つの協議会で構成されており、相互に連携を図りながら活動を進めております。今年度の実施事業について次の通りご報告いたします。

【大・仙・美保育協議会】

1. 総会（4月）

講演会「保育現場における『子どもの主体性』の捉えと現在について」

講師 秋田大学 教育文化学部 教授 山名 裕子 氏

2. 保育士部会

副園長・主任研修会及び保育士研修会（7月）

講話と実技「子どもが喜ぶ 運動遊び」

講師 カワイ体育教室 所長 三浦 正宏 氏

保育士研修会Ⅱ及び給食者担当者研修会

講話「食べる力を育もう！0歳からの口育と食事支援」（8月）

講師 栄養士 小田原 栄子 氏

3. 施設長部会

施設長研修会（10月）

あきたこどもの森（秋田市）視察

4. 保育実践研修会（1月）

<発表園> みつば保育園

「一人一人の育ちをつなげよう！ひろげよう！笑顔いっぱい みつばっこの輪」

～異年齢児・地域交流の中で、その子らしさが発揮できる環境構成とは～

【大曲地区保育協議会】

1. 総会（4月）

講話「信頼される職員をめざして」

講師 社会福祉法人大曲保育会 理事長 吉川 正一 氏

2. 研修部会

部会開催（5月・2月）

講演会「子どもの育ちに大切なこと」（8月）

講師 医療法人康晴会 生和堂医院 院長 伊藤 晴通 氏

実技研修会「リズム遊び～音楽遊びの視点から～」（9月）

講師 日本音楽療法学会認定音楽療法士 日沼 郁子 氏

3. 保健安全連絡会

部会開催（5月・1月）

「引き渡しマニュアル」「保健のしおり」の確認・「ヒヤリハット」の確認・様式検証

#### 4. 給食部会

部会開催（5月・8月・1月）

給食研修会「給食施設（保育）における災害時への備え」（9月）

講師 大仙保健所 健康・予防課 児玉 鉄弥 氏

#### 5. 厚生部会

部会開催（5月・1月）

リフレッシュ事業「ヨガ」講習（7月）

講師 コンディショニングサロン Yuj（ユジュ） 堀江 理花 氏

#### 6. 広報部会

部会開催（5月・11月・1月）

広報誌「ふれあい65号」編集・発行（12月）

---

## 横手地区保育協議会

会長 遠山 一栄（みいりの保育園 園長）

横手地区は、私立認可保育所23施設、私立認定こども園4施設、公立認可保育所2施設、私立地域型事業所2施設で構成され活動している。令和8年度から2公立保育所の民営化により協議会組織が私立保育所だけとなること等により会則改正（案）を作成する。当会地域交流助成事業により3地区で複数園での交流会が行われる。

令和7年度の当会の活動は次の通りです。

#### 1. 総務委員会 9回

#### 2. 総会（5月）

#### 3. 研修委員会

会議 4回

研修会

#### ① 横手市保育協議会・横手市保育士会合同職員研修会（6月17日）

講演「災害が多発する今だからこそ学ぶ防災とは」

#### ② 横手市地区保育セミナー（12月9日）

県保育研究大会の再発表

③ 横手市保育協議会・横手若手園長会合同研修会（2月27日）

講演「Google フォーム活用術：基本編」

④すくすくネットワーク3回（9月、10月、11月）

横手市教育委員会、支援学校、モモの家、さくらんぼルームの療育機関の参加の上、対象児のケース検討会・グループ協議を行う

4. 広報調査委員会

会議 2回

広報「保育よこて」第38号発行（12月）

広報「保育よこて」第39号発行（3月）

---

## 湯沢地区保育協議会

会長 岩川 明子（いわさきこども園 園長）

当地区は湯沢市・羽後町・東成瀬村の14施設で構成されており、会員の資質向上と地域に根差した保育を目指し保育士会与連携を取りながら活動をしています。

令和7年度は予定していた内容の研修を行うことができました。諸会議と研修会の内容は次の通りです。

1. 諸会議の開催

○湯沢市雄勝郡保育協議会 児童福祉功労者表彰 8名

・湯沢雄勝保育士会 被表彰者 8名

○総会 4月24日（木）

・事業報告と事業計画、予算審議

・演題「本格的なハラスメント事案になる前に取り組みたいこと」

・講師 秋田産業保健総合支援センター メンタルヘルス対策・両立支援促進員 保坂 雅和 氏

○役員会 8月21日（木）

・施設長研修、主任保育士研修、その他について

・情報交換（各園の状況報告、湯沢保育士会総会の在り方）

○四役会議 5月30日（金）、9月4日（木）、1月26日（月）、3月3日（火）

・各種事業の詳細について ・総会について

2. 研修の開催

○施設長研修 10月24日（金）



- ・湯沢市の施設見学（3施設）  
（湯沢こども園・みたけこども園・あおぞらこども園）

- ・情報交換（15名参加）

○保育士研修会 11月27日（木）

- ・講師 D-Style 柴田 めぐみ 氏  
「スワッグづくり」（24名参加）

○主任保育士研修会 12月11日（木）

- ・講師 臨床心理士 佐々木 康栄 氏 「障害児保育・発達障害について」
- ・情報交換（24名参加）



○給食担当者研修 9月11日（木）

- ・講師 菓子司 万寿堂 矢野 圭吾 氏 「上生菓子作り」
- ・情報交換（23名参加）



3. 会報「のび発行」2月予定

## 表彰おめでとうございます

### 叙 勲

#### ◇瑞宝双光章

藤井 みはと（本荘中央こども園・園長）

今野 眞保（明星こども園・園長）

川嶋 眞諒（子吉保育園・元園長）

#### ◇瑞宝単光章

嵯峨 エミ子（第一ルンビニ園・元園長）

三浦 京子（にかほ保育園・元園長）

須田 礼子（星城こども園・元園長）

萱森 幹子（相愛こども園・園長）

佐藤 栄吏子（大館市立たしろこども園・元園長）

### 厚生労働大臣表彰

#### ◇社会福祉事業従事功労者

濱田 牧枝（風の子保育園・園長）

神田 恵（あおぞらこども園・保育士）

野口 公子（湯沢こども園・副園長）

## 全国社会福祉協議会

### ◇全国社会福祉協議会会長表彰

(社会福祉法人・福祉施設功労者)

堀井 祐子 (勝平保育園・園長)

齋藤 玲子 (綴子保育園・園長)

大澤 美奈子 (第二ルンビニ園・園長)

今 まち子 (牛島ルンビニ園・園長)

(永年勤続功労者)

辻田 美香子 (下鍋倉保育所・主任保育士)

杉山 美保子 (第二ルンビニ園・保育士)

工藤 寿子 (風の子保育園・主任保育士)

齋藤 美保子 (第二ルンビニ園・副主任保育士)

星川 育子 (秋田市河辺保育所・保育士 (主事))

相馬 千春 (北秋田市米内沢保育園・主査)

木内 明美 (子吉保育園・保育士)

## 全国保育協議会

### ◇全国保育協議会会長表彰

大塚 恵 (能代感恩講保育所・副所長)

佐藤 良子 (大曲南保育園・園長)

浅野 史子 (潟上市立昭和こども園・園長)

利部 葉子 (秋田市寺内保育所・所長)

## 全国私立保育連盟

### ◇全国私立保育連盟保育功労表彰

高橋 大成 (沼館保育園・園長)

大澤 美奈子 (第二ルンビニ園・園長)

## 日本保育協会

### ◇日本保育協会永年勤続保育者表彰 (施設長)

石垣 千鶴子 (たしろこども園・園長)

山田 暢子 (ほどの保育園・園長)

### ◇日本保育協会永年勤続保育者表彰 (職員)

佐藤 真紀子 (あおぞらこども園・保育教諭)

堀井 智恵 (あさひ保育園・保育士)

阿部 晃子 (石脇西保育園・保育士)

齋藤 梨恵 (石脇東保育園・保育士)

菊池 由美 (ウェルビューいずみこども園・保育教諭)

齋藤 瞳 (ウェルビューいずみこども園・主幹保育教諭)

小石 秋奈 (内越保育園・保育士)

高橋 栄美 (内越保育園・保育士)

石川 優子 (風の子保育園・保育士)

北林 綾 (勝平保育園・保育士)

鈴木 郁美 (勝平保育園・保育士)

工藤 実里 (さくら保育園・保育士)

高橋 美保 (さくら保育園・保育士)

加藤 比奈子 (下鍋倉保育所・保育士)

大友 かおり (十文字保育園・保育士)

伊藤 真理子 (第一ルンビニ園・主任保育士)

東谷 かずみ (醍醐保育園・保育士)

小松田 功子 (たいゆう保育園・保育士)

皆方 朋美 (たいゆう保育園・保育士)

宮川 香奈子 (たいゆう保育園・保育士)

嶋田 朋子（日新保育園・保育士）  
菅原 志保（もとにしこども園・保育士）  
澤田 綾子（はねかわ保育所・保育士）  
小場 さとみ（深堀保育園・栄養士）  
小野 聖子（本荘中央こども園・保育教諭）  
奥山 裕美（みいりの保育園・主任保育士）  
金田 由佳（あいかわ保育園・保育教諭）  
石山 湯生子（いわさきこども園・保育教諭）  
山下 浩子（横手幼児園・栄養士）

佐々木 麻衣子（もとにしこども園・保育士）  
仙道 絵里子（もとにしこども園・保育士）  
堀井 志都子（はねかわ保育所・保育士）  
齋藤 亜弥（ほどの保育園・保育士）  
今野 千寿子（本荘保育園・保育士）  
加賀谷 有美（あいかわ保育園・保育教諭）  
佐々木 隆子（あいかわ保育園・保育教諭）  
佐藤 郁子（相愛こども園・保育教諭）

## 秋田県知事表彰

### ◇社会福祉施設の長及び従事者功労

宇佐美 千秋（牛島ルンビニ園・保育士）  
佐藤 るり子（あおぞら幼保連携型認定こども園・指導保育教諭）  
榎本 優子（小友保育園・園長）  
渡邊 夏美（内越保育園・栄養士）

## 秋田県社会福祉協議会

### ◇秋田県社会福祉協議会会長表彰（社会福祉功労）

土田 早苗（あおぞら幼保連携型認定こども園・指導保育教諭）  
石川 優子（風の子保育園・保育士）  
金澤 希（小坂マリア園・保育士）  
今野 千寿子（本荘保育園・保育士）  
照井 いづみ（小坂マリア園・保育士）

### ◇秋田県社会福祉協議会会長表彰（永年勤続功労）

沓澤 真澄（さんない保育園・主任保育士）  
高橋 由子（いわさきこども園・保育教諭）  
佐藤 美香子（つぼみ保育園・保育士）  
島田 亜紀子（大森保育園・主任保育士）  
岩川 明子（いわさきこども園・園長）

## 全国保育士会

### ◇全国保育士会感謝状

山崎 ゆき子（錦木保育園・副主任保育士）  
矢澤 美幸（花輪にこにこ保育園・保育士）  
鎌田 圭土（船越こども園・主任保育士）  
北林 綾（勝平保育園・保育士）  
工藤 実里（さくら保育園・保育士）  
渡邊 智治（こひつじ保育園・副主任保育士）  
齋藤 梨恵（石脇東保育園・保育士）  
小石 秋奈（内越保育園・保育士）  
兎澤 昂太（花輪にこにこ保育園・保育士）  
吉田 宏美（脇本保育園・主任保育士）  
嶋田 朋子（日新保育園・保育士）  
鈴木 郁美（勝平保育園・保育士）  
高橋 美保（さくら保育園・保育士）  
佐々木 真由美（風の子保育園・副主任保育士）  
阿部 晃子（石脇西保育園・保育士）  
高橋 栄美（内越保育園・保育士）

小野 聖子（本荘中央こども園・保育教諭）  
佐藤 悠（明星こども園・保育教諭）  
藤井 美恵子（大曲駅前こども園・医療・看護）  
関口 美香（横手マリア園・保育士）  
植村 和香子（下鍋倉保育所・保育士）  
小田島 宏美（沼館保育園・保育教諭）  
宮川 恭子（ときわベビー&キッズ・保育士）  
宮川 香奈子（たいゆう保育園・副主任保育士）  
皆方 朋美（たいゆう保育園・保育士）  
小林 桃子（ますだ保育園・保育士）  
永井 瑞子（深堀保育園・保育士）  
菅 理子（みわこども園・保育教諭）  
古関 郁子（みわこども園・保育教諭）

齋藤 美香（ひまわり保育園・副主任保育士）  
荒川 涼子（明星こども園・保育教諭）  
鈴木 真由美（仙南すこやか園・保育教諭）  
佐藤 郁子（相愛こども園・保育教諭）  
東谷 かずみ（醍醐保育園・保育士）  
佐藤 愛沙（沼館保育園・給食・調理）  
高橋 弘美（旭保育園・副主任保育士）  
小松田 功子（たいゆう保育園・副主任保育士）  
大友 かおり（十文字保育園・保育士）  
山田 千春（深堀保育園・保育士）  
藤井 真由美（みわこども園・保育教諭）  
照井 美里（みわこども園・保育教諭）  
池田 美代子（にしもないこども園・保育教諭）

## 編集後記

新しい年が穏やかに明けた令和8年。雪の少なさから暖冬かと思われましたが、やがて身を縮めるほどの大寒波が到来しました。子どもたちにとっては待ちに待った雪国の到来となり、寒さに負けず戸外へ出て、この時期ならではの遊びを存分に楽しむウィンターシーズンとなったようです。

さらに、冬季オリンピックでの神業ともいえる名場面の数々に刺激を受け、真似っこ遊びへと発展する姿も見られました。四季折々の自然の中でさまざまな遊びに興味を広げ、仲間と協力する心や思いやりを育みながら、やり遂げた達成感や努力を認められる喜びを味わう…そのような豊かな体験を子どもたちが全身で楽しむことができるよう、これからも日々の保育の中で支えてまいりたいと感じております。

本号の発行にあたり、年度末のご多忙の中ご寄稿をお寄せいただきました皆様に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

(Y・O)

## 広報部

担当副会長	岸 大 助	(湯沢市 湯沢こども園)
部 長	川 嶋 博 英	(由利本荘市 子吉保育園)
副部長	佐 川 ひ と み	(秋田市 幼保連携型認定こども園 ふじ)
〃	大 門 ヒ サ 子	(秋田市 こどものくに保育園)
部 員	南 部 芳 道	(横手市 金沢保育園)
〃	鈴 木 直 子	(仙北市 にこにここども園)
〃	菊 池 美 和 子	(藤里町 藤里保育園)
〃	大 澤 陽 子	(美郷町 仙南すこやか園)
〃	高 橋 ひ ろ み	(羽後町 にしもないこども園)

## [全私保連推奨] 各種団体保険制度



有限会社ゼンポ



公益社団法人  
全国私立保育連盟



東京海上日動

### ほいくのほけん・こどもえんのほけん

保育施設向け 4月1日～1年間 (中途加入可能)

Web  
加入  
可能

「園賠償責任保険」「園児団体傷害保険(学校契約団体傷害保険)」「職員団体傷害保険(総合生活保険)」など、保育施設における最大リスクを補償する1番の主力保険制度です。

### やくいんのほけん

社会福祉法人向け 8月1日～1年間 (中途加入可能)

Web  
加入  
可能

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクやマスコミ対応費用等のレピュテーションリスクに加えて、雇用関連トラブルによる法人への賠償リスクもオプション付帯可能な保険制度です。

### えんじのほけん

在園児向け商品 4月1日～自動更新 (中途加入可能)

Web  
加入  
可能

「国内外問わず24時間お子さまをお守りする傷害保険」「扶養者に万が一の場合の育英費用補償」など手厚い補償内容に加え、一般的な保険商品と比較して約65%の割引となっているため非常に割安な保険制度です。

### しょうがくせいのほけん

卒園児向け商品 4月1日～自動更新 (中途加入可能)

Web  
加入  
可能

24時間のおケガ等からお守りすることに加え、学校からの貸出タブレットを含め個人賠償責任保険など卒園後のリスクを補償します。本商品も一般的な保険商品と比較して約30%の割引となっているため割安な保険制度です。

取扱  
代理店

有限会社ゼンポ

TEL: 03-3865-3881  
FAX: 03-3865-2806



引受  
保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

担当課支社: 公務二部 文教公務室 TEL: 03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約等傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険(レピュテーション費用特約条項付 費用・利益保険)・雇用関連賠償責任保険の概要・団体総合生活保険(傷害保険)の概要についてご紹介したものであり、全ての事項を記載しているものではありません。保険の内容は各保険制度のパンフレットをご覧ください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をお読みください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお申し渡す保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。

連絡先



公益社団法人全国私立保育連盟指定/東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

TEL 03-3865-3881  
FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館4階

無制限の動画や写真を通して、園と保護者の絆を深める連絡アプリ

全国私立保育連盟推奨(総代理店)



きっずノート

「きっずノート」は長く使い続けていただけるよう

初期費用0円・登録者数無制限

すべての機能使い放題/

月額 5,500円(税込)

無料体験実施中!

お申し込みは  
コチラ



ご相談・ご質問はお気軽に

きっずノートサポートセンター

TEL 03-3865-3886